

研究分野のキーワード：聴覚障害，手話，コミュニケーション

研究紹介

大学生の時に手話に関心を持ち、手話講習会や手話サークルに通い始めたことがきっかけで、手話研究の道に入りました。手話単語の学習方法や手話表現の空間的なメタファーの理解などについて研究した後、国立特殊教育総合研究所（現：国立特別支援教育総合研究所）に入り、聴覚障害教育全般の研究を仕事とするようになりました。その後は手話の文法的研究や手話を含む聴覚障害者のコミュニケーションを中心テーマとしながら、聴覚障害教育のその時々課題について全国の聾学校（聴覚特別支援学校）調査などを通して研究を進めてきました。

2012年4月より愛知教育大学で仕事をするようになりましたが、現在はこれまでの仕事を発展させるとともに、聴覚障害教育を担う未来の教員を育てることを大切な使命と考えています。